

コンストラクショントップセミナーの開催

建設研究センター

○概要

県内建設業者のトップクラスの人を対象に、建設業界の厳しい現状及び県内建設業者の地域貢献のあり方などを再認識していただくためのセミナーを開催

○開催状況

第1回

日 時 平成15年6月16日(月) 午後1時～3時40分

場 所 ソフトピアジャパン セミナーホール

参加者 約200名

開催内容 テーマ「公共事業の将来展望と建設業者の役割」

講演

①建設行政の最近の話題

国土交通省大臣官房技術調査課事業評価調査官 前佛和秀氏

ローカルルールを導入などによるコストの縮減、事業完了後の効果を評価する事業評価制度などについて

②岐阜県の建設行政の現状と今後の展望

岐阜県基盤整備部技術参事 安藤正敏氏

県の投資的経費の推移、談合情報があった入札件数などのデータを示して、「岐阜県の建設行政の現状と今後の課題」について

③公共事業の透明性・公平性の確保と地域における建設業者の役割

岐阜大学社会基盤工学科教授 森本博昭氏

公共土木事業の将来展望のデータを示していただくとともに、談合情報を例として土木界の衰退自滅のシナリオと、今後の建設業界の目指すべき方向について

第2回

日 時 平成15年9月22日(月) 午後1時～4時

場 所 サンレイラ岐阜

参加者 約180名

開催内容 テーマ「建設業者の生き残り戦略」

講演

①今後の経済情勢と建設業の将来

(財)産業経済振興センター理事長 道上 浩也氏

公共事業の増加が困難な中、今後は施設を造る時代から施設の運営・管理・維持を行うサービスで利益をあげると共にコスト削減にむけての技術革新への努力も重要

②未知の分野への挑戦

会津土建株式会社社長 菅家洋一氏

これからの建設業者は会社の規模でなく技術力の有無が評価基準。また発注者や地域から評価されることも大切

③建設復興 建設業生き残りへの3つの選択

CBCC代表 倉見康一氏

これからはモノ・労力を提供するのではなく知恵・サービスを提供する建設サービス産業に変革する必要がある。

○関連会議

・第1回「岐阜県研究好きトップ会議」の開催

日 時 平成15年9月11日(木) 午後5時～7時

場 所 グランヴェール岐山

参加者 県内の建設・土木・建設資材などの分野で技術開発に力を注ぐ20企業の代表者

開催内容 各企業の研究開発などの取り組み紹介、及び意見交換会

・第2回「岐阜県研究好きトップ会議」の開催

日 時 平成16年2月下旬予定

